令和７年度 ブロック別研修会内のグループ討議で出た意見

1 団活動に関する工夫・課題		
	(1) イベント・行事の実施例	① ハロウィン、クリスマス会等の季節にあわせて ② 地域行事への参加（夏祭り、敬老会での踊り、バザー） ③ クリーン作戦 ④ キャンプ、合宿 ⑤ 親子大会、栄養会
	(2) 日頃の練習の工夫	① 月間・週間 MVP 制度で、団員のモチベーションアップ
	(3) 育成会の関わり	① 見守り活動（アンケートによる柔軟な関わり） ② 簡単な練習の補助（希望者のみ） ③ 大会・遠征等への送迎の協力 ④ 指導者側も育成会の支援の重要性を認識 ※ 一方で、育成会の負担軽減が課題となっている団がある ※ 指導者と保護者間の対話の場の設定し、団の方向性を一致させることも必要
2 団員募集に関するアイデア		
	(1) 入団対象の拡大	① 参加日を選択可能にする仕組み（児童クラブへ行っている児童向けの平日コース等） ② 低学年・幼稚園児からの入部促進 ※ コースや対象年齢が広がることによる指導負担にも配慮
	(2) 保護者への説明	① 少年団運営への理解促進（入団前の説明など） ② 入団に対する不安や悩みを解消（先入観あり）
	(3) 体験会の工夫	① 参加した児童へプレゼント準備 ② 親子対象にして保護者を勧誘
	(4) 口コミの活用	① 子どもに勧誘させて入部した場合のご褒美（お菓子など） ② 同学年の友人を誘うことの有効性と学年バランスへの配慮
	(5) 学校との連携	① 学校との連携による紹介動画の活用（給食時間に上映） ② 安心メールやまなびポケットの活用 ③ 昼休みに体験会を実施
	(6) チラシ・SNS の活用	① チラシ配布場所の工夫（スポーツショップ、コンビニ等） ② SNS 活用の課題（インスタグラム運営における人材差）
	(7) 地域行事との連携	① 文化祭でのブース出展